

はにい

お月見会

平成24年10月29日

今日はお月見会。地域の皆さんが幼稚園にお団子づくりを教えに来てくださいました。

子どもたちは、自分で適当な大きさにちぎることが難しいので、一人ひとりに、何度も何度もちぎって渡してくれます。

「まんまるお月さんと同じくらいにまんまるにするんだよ。」

「きれいにつるつるにしてね。」



一方、隣の3歳児の部屋では、先生が子どもたちの見た月の形を教わっています。

——みんな月って見たことある？

「あるよー。」「きのう見た！」

——え、どんな形だった？

「こんなの。」「かいてあげようか？」

——じゃあ、かいてもらおうかなあ。きのうの月見た人！

数人が手をあげました。先生が抱っこしてあげて、描いてもらいました。



——半分の形だったんだ。他にきのうのお月様、教えてくれる人いる？

「はーい！」

今度は全員が手をあげました。先生は子どもたちから、何度も何度も教えてもらいます。

さて、お団子の方へ戻ってみましょう。できたかな？

先生が一人ひとりのお団子を見て回っています。

「どう先生、これ？」

——あ、ツルツルだねえ。上手上手。

「ボクもできた！」

——まあるくできたねえ！コロコロしてる。

先生は、一人ひとり、その小さな手のひらに乗った小さなお団子に、何度も何度も感動しています。



かながわ元気な学校づくり通信『はにい』とは、
学校が元気になるように・・・

先生の仕事を受ける

学校に携わる大人たちがしていることを受ける

そして、もちろん子どもたちの育ちを受取る

そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp